

家族みんなでやってみよう！

うちどく

子どもたちが考えた「家読(うちどく)」の約束

- 1 家族で同じ本を読もう。
- 2 自分のペースで読もう。
- 3 家族で読んだ本について話そう。



「うちどく」
って何？

「家読(うちどく)」とは、「家族で読書」をすることです。

家読は、家族ぐるみで同じ本を読んで、その中のおもしろかったことや、よかったことなどを話し合うことです。そうすることで、読書習慣が身に付き家族の会話が増え、コミュニケーションが豊かになって、家族の絆が深まっていく、といった効果が期待されます。

法律では年1回！北九州市では毎月1回

毎月23日は、

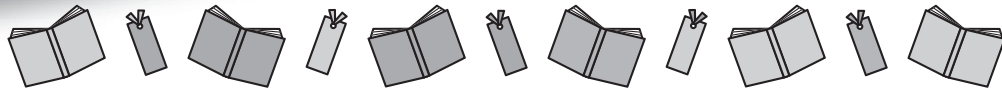
ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日！

平成13年12月12日に公布された「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、4月23日を「子ども読書の日」とすることなどを定め、子どもの読書活動の推進を図ることとしています。そこで、「子ども読書の日」にちなみ、北九州市では毎月23日を「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」と定め、子どもの読書活動を推進しています。

また、平成28年3月に策定した「新・北九州市子ども読書プラン」では、家庭、地域、学校、市立図書館、子育て関連施設などが相互に連携して、子どもの読書活動の推進を図ることとしています。



たくさん読もう！
楽しく読もう！



読書は子どもの成長・発達に大切です

読書活動は、子どもの言葉、感性、表現力、創造力を育み、知識を広げ、生きる力を身につけます。

子どもが色々な本と出会うことは大切なことです。家族の皆さんが子どもと一緒に本を選び、一緒に読書をすることで、子どもと話し合うきっかけが生まれます。



家庭では・・・

テレビを消し、ゲームをやめて、家族で本を読みましょう！
そして、ときには読んだ本の感想を交換し合ひましょう。



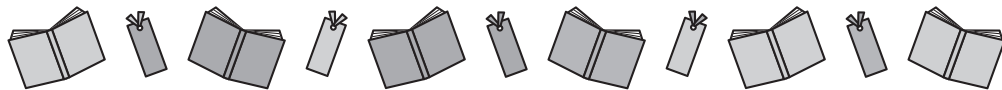
企業では・・・

ワーク・ライフ・バランスにあわせて、家読など家庭における読書活動の推進に取り組みましょう。



保育所、幼稚園、学校、図書館、地域では・・・

絵本の読み聞かせや10分間読書などに取り組み、市全体で子どもたちが読書の楽しさやすばらしさを体験できる環境づくりを推進しましょう！



北九州市立
子ども図書館



北九州市小倉北区城内4-1 TEL.093-571-0011

